

通訳ボラでW杯観戦者歓迎

世界で活躍できる若者の人材育成担う

今年で設立17年を迎えたNPO法人掛川国際交流センター。エコパスタジアムで開催されたラグビーワールドカップに訪れた外国人観光客らをもてなすため、通訳ボランティアの養成講座を開催するなど、総力を挙げて掛川市の魅力発信に努めてくれました。センター職員の別所麻紀子さんが、その取り組みや思いを中心に紹介してくれます。

◎観光・シティプロモーション課(☎21-1121)

かけがわ
魅力・情報
発信!

City Promotion

国際交流通じて掛川茶をPR

国際交流センターは、市役所2階の生涯学習テラスに事務所を構え、外国人生活支援のための窓口開設や通訳、英会話教室や異文化体験講座といった国際化啓発事業、姉妹都市交流事業など、多文化共生のまちづくりに取り組んでいます。

その中で、私たちは世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の見学などを含め、掛川茶の魅力発信にも努めています。さまざまな国の方にお茶を味わってもらい、掛川茶ファンを多く生み出してきたと自負しています。

「君たちのおもてなしは最高だよ」

今年はエコパスタジアムでラグビーワールドカップが開催されました。この世界的イベントを盛りあげようと、私たちも「ラグビーワールドカップおもてなし実行委員会」と協働。昨年12月から「おもてなしボランティア養成講座」を開き、多くのガイドを育成しました。

今回、講座修了生やボランティアに登録している市民延べ124人が、4日間開かれた試合の当日と翌日、掛川駅周辺を訪れた観戦客の通訳やガイドとして活躍。グルメやお茶、



ようこそ、KAKEGAWAへ

お城などの歴史文化を紹介しました。国内外の観光客から「君たちのおもてなしは最高だよ」「初めて来たけどいい街ですね」「大切な思い出になった」など多くの声を掛けていただいたと同時に、ガイドとして地元を知ること、掛川市の魅力を再発見するきっかけにもなったようです。

経験生かして次のステップに

今回のボランティアには、昨年10月に初めて姉妹都市訪問団のホストファミリーを体験した家族も参加してくれました。知ってる英語を駆使しながら楽しく過ごせた経験を生かす、次のステップに挑戦してくれたことは、私たちにとって大きな喜びです。

この家族のように新しいステージに踏み出していける方を増やすためにも、海外の方との交流はもちろん、さまざまな価値観を持つ外国籍市民との地域における多文化コミュニケーションづくりや、国際感覚を持つ若者の人材育成に、より一層力を入れていきたいと考えています。それが、掛川市の魅力を国内外へ発信するシティプロモーションにもなると信じています。

現在、高校生ユージン研修訪問団員を募集中。ぜひチャレンジしてください。(詳しくは21ページ参照)